



2026年2月16日

各 位

会 社 名 株式会社UNICONホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小山 剛
(コード:407A、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役(管理部門管掌) 湯田 高弘
(TEL. 022-781-8515)

(訂正)「2026年6月期第2四半期 決算説明会資料」の一部訂正について

2026年2月13日に公表いたしました「2026年6月期第2四半期 決算説明会資料」について、一部内容の誤りがあることが判明いたしましたので、お知らせいたします。

なお、開示済みの決算短信に訂正はありません。

記

1. 訂正理由

提出後に記載内容の誤りが判明したため、訂正いたします。

2. 訂正箇所

別紙をご参照ください。訂正箇所に赤枠を付して表示しております。

以 上

(別紙)

「2026年6月期第2四半期 決算説明資料」 2ページ

【訂正前】

エグゼクティブ・サマリー

UNICON HOLDINGS | つながり、繋えて、未来をつくる。 2

2026年6月期 第2四半期 決算の概要

(単位: 百万円)

2026年6月期第2四半期累積実績				2026年6月期通期計画			
売上収益	営業利益	受注高	受注残高	売上収益	営業利益		
9,487	773	8,080	15,640	19,485	1,685		
前年比 +11.9%	前年比 △14.9%	前年比 19.5%	前年比 +10.7%	前年比 +10.6%	前年比 △1.5%		

業績サマリー

- 2026年6月期第2四半期累積実績について、売上高は前年比+11.9%、営業利益は前年比△14.9%と増収減益となったものの、前年同期に計上された収益性の高い案件の剥落によるものであり、**全体としては売上高はほぼ社内計画通り、営業利益は社内計画を若干上回る水準での着地**となった。
- 受注高は第1四半期における大型案件の受注タイミングの遅れが継続していることから社内計画を若干下回る水準であり、前年比で+19.5%で着地。一方、受注残高は前年比で+10.7%と社内計画を上回る水準での着地となった。
- 通期に向けて衆院選に起因する予算成立の遅れの可能性や一部案件における当社事由でない進捗遅れ等のリスクがあるも**現在の計画は据え置き**

2026年6月期第2四半期のトピック

- 当社4件目となる防衛案件の受注を獲得。受注実績を軸に、今後拡大が期待される防衛領域において更なる受注獲得を目指す。
- 2025年12月に経営企画部を新設。上場を控え止めていたM&Aの検討を再び加速し、グループ経営を推進する方針。
- 当社グループ会社3社が福島県優良工事表彰受賞。今後の受注における技術点として評価されるため、長期的な競争力の向上に繋がる見込み。

©UNICON Holdings Co., Ltd.

【訂正後】

エグゼクティブ・サマリー

UNICON HOLDINGS | つながり、繋えて、未来をつくる。 2

2026年6月期 第2四半期 決算の概要

(単位: 百万円)

2026年6月期第2四半期累積実績				2026年6月期通期計画			
売上収益	営業利益	受注高	受注残高	売上収益	営業利益		
9,487	773	8,080	15,640	19,485	1,685		
前年比 +11.9%	前年比 △14.9%	前年比 19.5%	前年比 +9.5%	前年比 +10.6%	前年比 △1.5%		

業績サマリー

- 2026年6月期第2四半期累積実績について、売上高は前年比+11.9%、営業利益は前年比△14.9%と増収減益となったものの、前年同期に計上された収益性の高い案件の剥落によるものであり、**全体としては売上高はほぼ社内計画通り、営業利益は社内計画を若干上回る水準での着地**となった。
- 受注高は第1四半期における大型案件の受注タイミングの遅れが継続していることから社内計画を若干下回る水準であり、前年比で+19.5%で着地。一方、受注残高は前年比で+9.5%と社内計画を上回る水準での着地となった。
- 通期に向けて衆院選に起因する予算成立の遅れの可能性や一部案件における当社事由でない進捗遅れ等のリスクがあるも**現在の計画は据え置き**

2026年6月期第2四半期のトピック

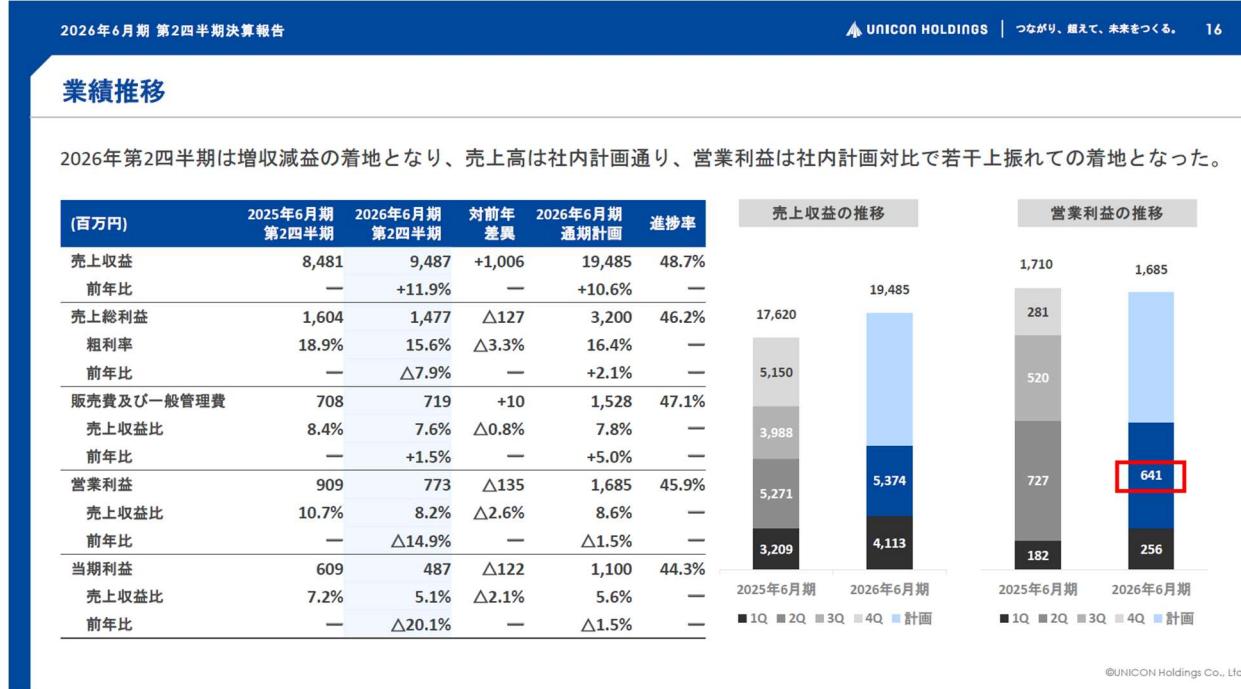
- 当社4件目となる防衛案件の受注を獲得。受注実績を軸に、今後拡大が期待される防衛領域において更なる受注獲得を目指す。
- 2025年12月に経営企画部を新設。上場を控え止めていたM&Aの検討を再び加速し、グループ経営を推進する方針。
- 当社グループ会社3社が福島県優良工事表彰受賞。今後の受注における技術点として評価されるため、長期的な競争力の向上に繋がる見込み。

©UNICON Holdings Co., Ltd.

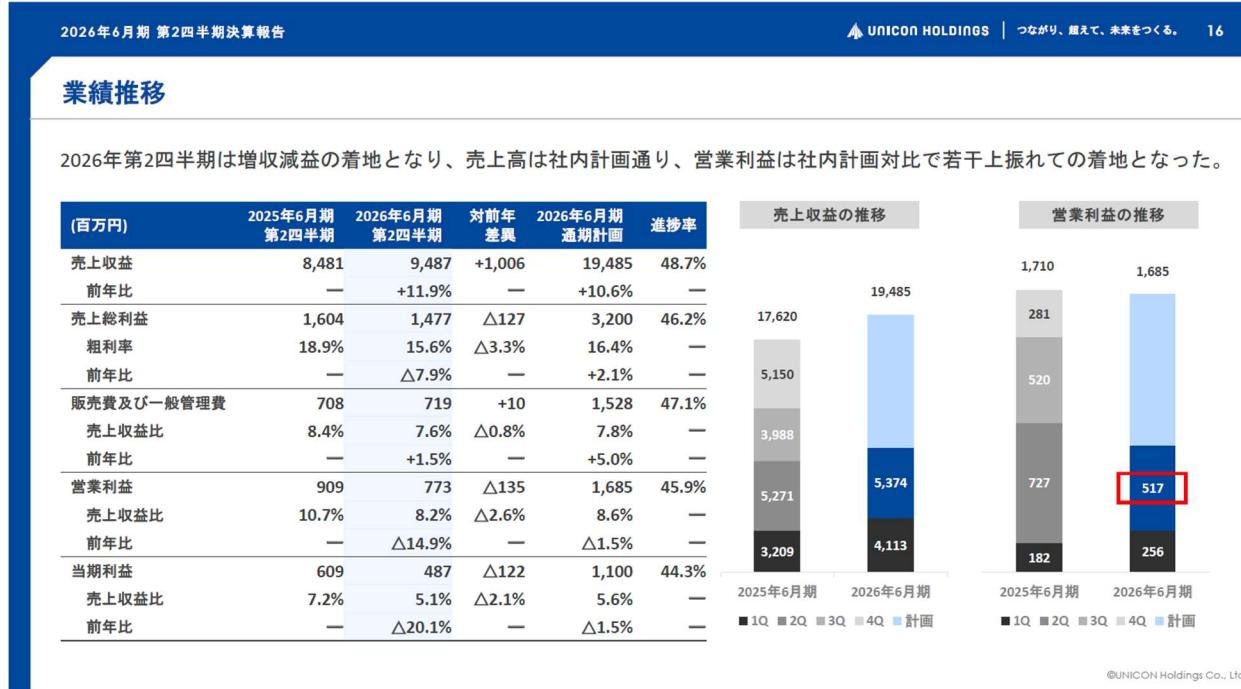
(別紙)

「2026年6月期第2四半期 決算説明資料」 16 ページ

【訂正前】



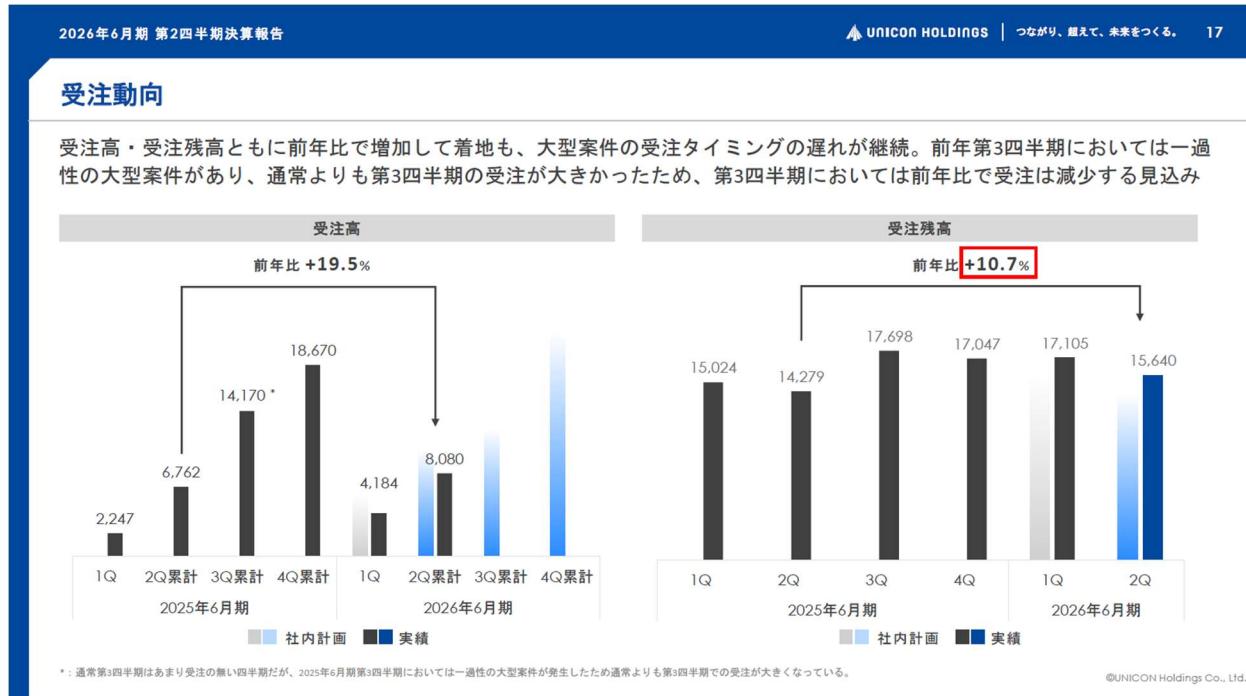
【訂正後】



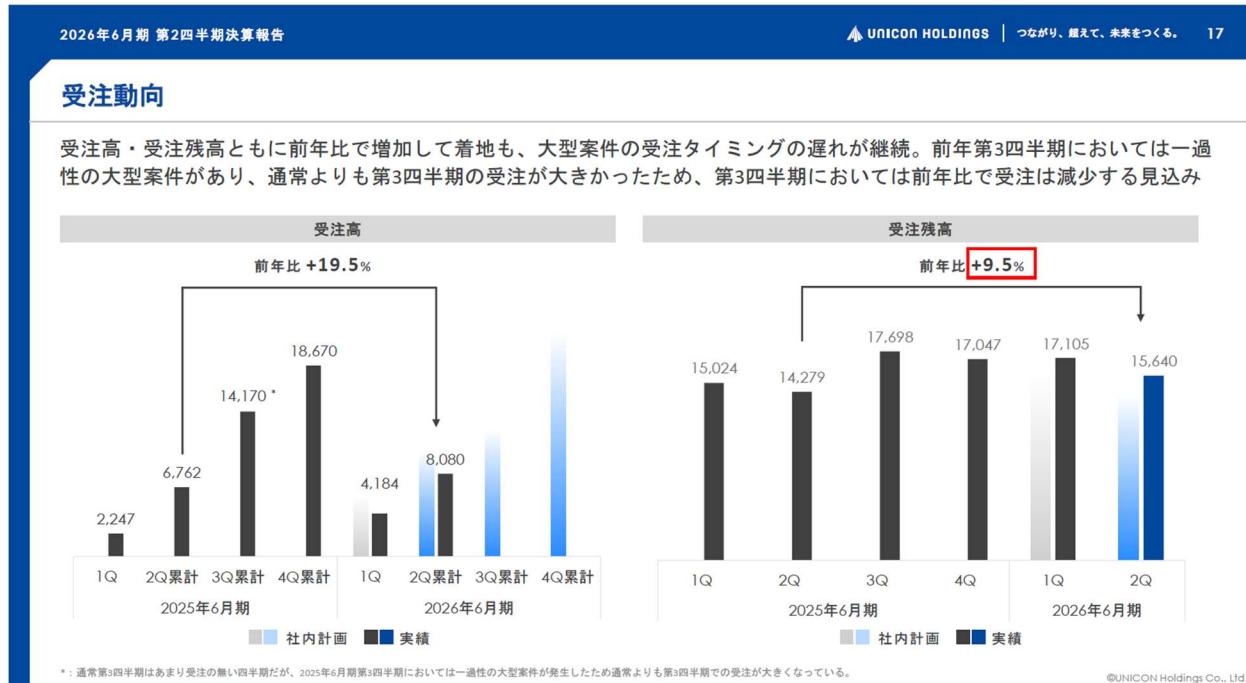
(別紙)

「2026年6月期第2四半期 決算説明資料」 17ページ

【訂正前】



【訂正後】



(別紙)

「2026年6月期第2四半期 決算説明資料」 24ページ

【訂正前】

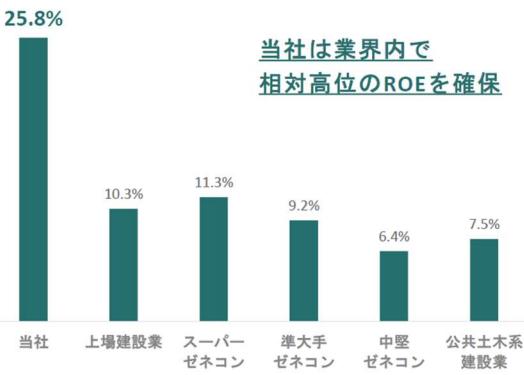
2026年6月期 業績計画

UNICON HOLDINGS | つながり、繋えて、未来をつくる。 24

財務戦略及び株主還元

配当性向の基本方針は40%であり、60%相当分はM&Aを含め再投資を予定している。
2026年6月期においては1株当たり配当金は45円で計画している。

当社ROEの状況



会社	ROE (%)
当社	25.8%
上場建設業	10.3%
スーパー ゼネコン	11.3%
準大手 ゼネコン	9.2%
中堅 ゼネコン	6.4%
公共土木系 建設業	7.5%

当社は業界内で
相対高位のROEを確保

当社のキャッシュアロケーション方針

配当性向の基本方針 **40%**
60%相当分は再投資の予定 (M&Aを含む)

2026年6月期連結業績予想及び1株当たり配当金

項目	額
基本的1株当たり当期利益	111.25円
1株当たり配当金	45円
配当性向	40.4%
配当利回り (2月9日終値ベース)	4.17%

注) 出典データは各社IR資料及び株式会社東京証券取引所による2024年度(2024年4月期~2025年3月期)決算短信集計結果に基づく。また、当社数値は2025年6月期遅期の数値となる。

©UNICON Holdings Co., Ltd.

【訂正後】

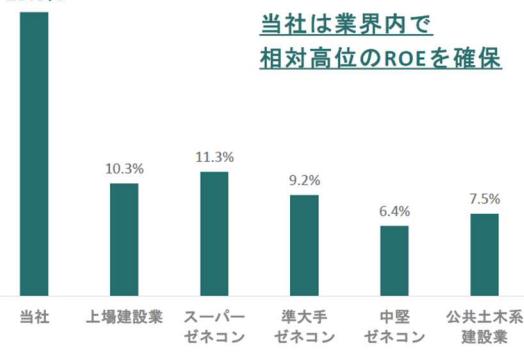
2026年6月期 業績計画

UNICON HOLDINGS | つながり、繋えて、未来をつくる。 24

財務戦略及び株主還元

配当性向の基本方針は40%であり、60%相当分はM&Aを含め再投資を予定している。
2026年6月期においては1株当たり配当金は45円で計画している。

当社ROEの状況



会社	ROE (%)
当社	25.8%
上場建設業	10.3%
スーパー ゼネコン	11.3%
準大手 ゼネコン	9.2%
中堅 ゼネコン	6.4%
公共土木系 建設業	7.5%

当社は業界内で
相対高位のROEを確保

当社のキャッシュアロケーション方針

配当性向の基本方針 **40%**
60%相当分は再投資の予定 (M&Aを含む)

2026年6月期連結業績予想及び1株当たり配当金

項目	額
基本的1株当たり当期利益	111.25円
1株当たり配当金	45円
配当性向	40.4%
配当利回り (2月9日終値ベース)	3.66%

注) 出典データは各社IR資料及び株式会社東京証券取引所による2024年度(2024年4月期~2025年3月期)決算短信集計結果に基づく。また、当社数値は2025年6月期遅期の数値となる。

©UNICON Holdings Co., Ltd.